

平成28年度 第2回 国際理解講演会

3月2日(木)、本校図書室で1年生、2年生の国際文化情報学科79名を対象に国際理解講演会が実施されました。今回講師としてお越しいただいたのは、日本アイ・ビー・エム株式会社から社会貢献を担当しておられる塚本亜紀先生、システムズエンジニアとして活躍されている久保田晃弘先生のお二方です。

初めは、「アイ・ビー・エムって何の会社？」→「コンピュータに関係しているみたい??」→「難しい話が始まるのかな??」と不安げな表情の学科生も多かったのですが、塚本先生から、「アポロの月面着陸のための計算をまかされた」「バーコードやマークシートの仕組みを作った」「コンビニのATMの仕組みを作った」等、歴史の教科書に載っている出来事から、普段の生活で身近に接している事柄と関わっている会社とお聞きし、一同「びっくり!」の表情。



さらに、コンピュータ会社であっても、コンサルティングや営業部門などでは多くの文系出身者が活躍しているという説明を聞き、どんどんと話に引き込まれていきます。

そして、IBMの社会貢献&人材育成プログラムの1つとして、「異なる国、職種の社員との混成チームで、新興国や発展途上国での地域の問題解決を、ビジネス的な手法を活かして支援するプログラム」であるIBM海外支援チーム(CSC)の紹介。多くの学科生が将来、留学や海外での就職、国際的に活躍できる仕事を希望しているのですが、「そんな仕事もあるんだ!」と新しい選択肢を見つけられたようでした。

ここで、実際にCSCプログラムでエチオピアのプロジェクトに参加された久保田先生にバトンタッチ。ご自身の体験の中から、8か国という多国籍でのメンバーによる事前準備作業での苦労話などをユーモアたっぷりに伝えてくださいました。学科生も、「8か国のメンバーで毎週電話での定例会議をするために、どんな配慮をして、どうやって日時を設定するか?どうやって意思決定をしていくとよいのか?」についてグループでアイデアを出し合っていました。



アフリカとの時差って、どれくらい? 普段気にすることのない知識を総動員。



多数決で決めちゃっていいのかな? 全部リーダーが決めてしまうのもイヤかも・・・。

講師の先生にアドバイスを受けながら、「時差があるから・・・」「金曜日の夜？」「みんなが起きてる時間は？」「ちゃんと出席確認しないと！」「ビデオレターもいいかも」などなど、色々な意見で盛り上がりました。時差の関係で、どうしてもアジアのメンバーが割を食ってしまう、や、休日前の金曜日の夜(夜中)の会議なんて嫌だから私なら断るなあ、などのコメントに「へー！」「なるほど！」と感心しきり。

その後も、チーム活動では、メンバー全員が必ず守るべきルールを決めておくことが大切なことや、現地でどんなプロジェクトに携わったのか、海外では会議で黙っていると“やる気がない”と思われるのでどんどん発言しないといけないこと(日本の奥ゆかしさは通用しない)、などをお話しいただいたり、実際に英語で作成された成果物を見せていただいたり、あっという間の80分でした。

学科生にとって、憧れの「世界で活躍する」ために必要なこと、これから頑張っていくこと再度考えるきっかけになったことに加え、普段の教室の中でも、色々な事情を持つクラスのメンバーでモノづくりをしていくために大切なことも学ぶことができた有意義な講演会でした。

【生徒の感想】

- ・自国の常識が他に通じることは少ないんだと思いました。
- ・改めて英語の大切さがわかりました。また、自分の意見を主張することが世界的な話し合いの場では相手のためにもなり、これからの国際社会の中ではどんどん主張することが大切なのだとわかりました。
- ・今まで話し合いのときに自分の意見を述べることができないことが多々ありましたが、自信がなくてもいいから自分の意見を言えるようにしようと思いました。
- ・文化も考え方も違う人と仕事をするのは大変そうだけど、今回の話を聞いていると、楽しそうでとてもやりがいを感じられそうな仕事だなあとと思いました。もっと英語を頑張ろうと思います。
- ・海外で外国人と協力して何かをする仕事に興味があったのですが、今日の講演を聞いてより興味を持ちました。とても楽しそうで、一緒に何かを成し遂げるということはとても素晴らしいことだと思いました。グループで何かをするときの対処法も勉強になりました。
- ・英語が話せたら、やりたい仕事の幅が広がるな、と感じました。もっと英語を頑張ろう！と思えました。
- ・英語力も自己主張も練習していかなければならない、と思いました。
- ・異なる国の人たちと一緒に働くことの難しさや、海外で働くために持っていなければならない能力などについて、たくさん教えていただきました。そして、今、自分が身に付けなければならないものは何か、英語を使って自分は何がしたいのか、改めて考えなおす良い機会になりました。
- ・自分の意見をしっかり持ち積極的に伝えようとするのが大事であり、「こうしたい」という強い信念を持ち続けることが大事だと感じました。将来の進学先や就職先に悩んでいましたが、今は悩んだりするのはやめて、自分のできることを頑張ろうと思いました。
- ・自分だったら、と考えることはとても難しかったけど、しっかり話を聞いていると、これからの国際社会で他国について深く知る事や、このように裏で支えている企業があるからこそ、たくさんの国と日本がつながっていけるんだと感じました。何事も積極的な気持ちが大切だと学べました。
- ・自分たちで考えたことと経験者である先生から聞いたことの視点が違って、なるほどと思えることがたくさんあって面白かったです。
- ・日本人は自分の意見を言わないことが多いので、私は言えるようになります。そして、自ら進んで行動し、何かを始めることはそのチームにとっても自分にとっても良いことがわかったので、積極的に行動していきたいと思います。
- ・チームの一員であるという自覚を持ち、お互いを知り尊重することが大切だと思いました。

